

しあわせ

vol.
10

2015年5月

トピックス

社会福祉法人制度改革

会長 松原 義人

タイムリー

- ・当法人の役員のご紹介
- ・「しあわせ」があたりしくなります

Voice
法人役員の声

I ♥ KYOTO

理事兼評議員 近藤 善弘

施設ナウ!

各施設の最新情報 今年度の目標や取り組みについて

法人職員 2,200名

法人誕生より 101年



社会福祉法人 京都社会事業財団
Kyoto Social Welfare Foundation

各施設の所在地



京都桂病院



京都桂看護専門学校



京都厚生園



京都厚生園松尾の家



つばさ園



松陽児童館



京都厚生園山田の家



ゆずの木ホーム



ライフ・イン京都



にしがも舟山庵
にしがも透析クリニック

にしがも舟山庵
にしがも透析クリニック



成逸センター



西陣病院



北野保育園



二条保育園



昭和保育園



京都桂川園



玉頭の家



京都桂川園久世障害デ
サービスセンターショートステイ



社会福祉法人 京都社会事業財団

Kyoto Social Welfare Foundation

法人本部 〒615-8256 京都市西京区山田平尾町17番地(京都桂病院内) TEL075-391-5811代(内線8606) / FAX075-393-0140
URL <http://kyoto-swf.com> E-mail honbu@kyoto-swf.com

季刊広報誌 しあわせ 発行/社会福祉法人 京都社会事業財団 編集/しあわせ編集委員会 発行日/2015年5月25日 印刷/有限会社 アクト

当法人の新役員のご紹介

(任期：2015年4月1日～2017年3月31日)

役職名	氏名	所属	役職名	氏名	所属
会長・理事・評議員	松原 義人	ライフ・イン京都診療所 所長	顧問	坂元 和夫	弁護士
常務理事・評議員	野口 雅滋	京都桂病院 院長	評議員	大島 康男	アイバンク管理会 名誉顧問
理事・評議員	太田 勝己	京都育成の会 副理事長	評議員	谷村 和治	弁護士
理事・評議員	伊谷 賢次	西陣病院 院長	評議員	大江 ひろみ	子どもシェルター「はるの家」 シェルター長
理事・評議員	伊藤 邦治	西陣病院 事務局長	評議員	金網 隆弘	西陣病院 名誉院長
理事・評議員	源野 勝敏	京都厚生園 園長	評議員	掃部 光昭	善峰寺 住職
理事・評議員	今村 正之	関西電力病院 学術顧問	評議員	畑 正高	株式会社 松栄堂 代表取締役社長
理事・評議員	澤村 忠則	二条保育園 園長	評議員	三浦 賢佑	三浦診療所 所長
理事・評議員	中井 洋一	京都私立病院協会 理事	評議員	小石 玖三主	西京区自治連合会 会長、西京区社会福祉協議会 会長
理事・評議員	近藤 善弘	元皇宮警察本部長、(株)イオンテック(小セキユイ)代表取締役社長	評議員	飯野 昭則	松陽自治連合会 会長
理事・評議員	深尾 憲一	弁護士	評議員	西城 嘉子	京都府看護連盟 会長
監事	藤野 雅彦	元社団法人春秋会 常任理事	評議員	青山 薫	ライフ・イン京都 ホーム長
監事	桑木 肇	公認会計士	評議員	石塚 かおる	つばさ園 園長

社会福祉法人

制度改革



社会福祉法人 京都社会事業財団
会長 松原 義人

公益法人制度改革が続いて、社会福祉法人制度の見直しに関し厚生労働省をはじめ規制改革会議、社会保障制度改革国民会議、政府税制調査会等で議論が行われてきました。昨年7月の「社会福祉法人の在り方等に関する検討会」報告書を受けて、厚労省の社会保障審議会福祉部会が本年2月に「社会福祉法人制度改革について」の報告書を出しました。その後、社会福祉法改正案が4月3日に閣議決定され、第189回通常国会での成立を目指し、施行は平成29年4月1日(一部は平成28年4月1日)とされています。今回の改正の趣旨は福祉サービスの供給体制の整備及び充実を図るためであります。(左表)

Ⅰ 社会福祉法人制度の改革

- 1 経営組織のガバナンスの強化
- 2 事業運営の透明性の向上
- 3 財務規律の強化(適正かつ公正な支出管理・いわゆる内部留保の明確化・社会福祉事業等への計画的な再投資)
- 4 地域における公益的な取組を実施する責務
- 5 行政の関与の在り方

Ⅱ 福祉人材の確保の促進(詳細略)

法律に明記する事項として、理事の義務・責任を明確にするとともに理事と評議員の兼務は認めず、理事会は法人の業務執行の決定、理事の職務執行の監督、理事長の選定・解職等を行う意思決定機関として位置付け、評議員の選任・解任や重要な財産処分等ではできない等が挙げられています。評議員の権限・責任ならびに評議員会の招集請求権を法律上明記し、評議員の任期は中期的な牽制機能を維持する観点から4～6年としています。評議員会は理事・理事会を牽制する機能を有し、定款の変更、理事・監事・会計監査人の選任・解任、役員報酬の支給基準、重要な財産処分、多額の借財、重要な役割を担う職員を選任・解任、法人の解散・合併等の重要事項に係る議決権を付与するとともに各会計年度に係る計算書類、事業報告等の承認を行うものとしています。また、理事・監事・評議員・職員等の関係者に対し特別の利益供与は禁止されます。なお、現行の評議員会が担っている諮問機関としての機能の一部を代替する仕組みとして、各法人が地域の代表者や利用者または利用者の家族

の代表者等が参加する「運営協議会」を開催し、意見を聞く場として位置づけ、地域や利用者の意見を法人運営に反映させることが適当であるとされています。さらに、収益が一定規模以上の法人には会計監査人の設置を義務付け、実効性ある会計監査を行うため会計監査人の権限・義務・責任等を法律に明記するとしています。社会福祉充実残額(再投下財産額)は計画的に社会福祉事業、地域公益事業の新規実施・拡充に再投下することを義務付けるとともに、社会福祉充実計画は公認会計士または税理士及び当該事業地域の住民その他の関係者の意見を聴き、評議員会の承認を得た上で、所轄庁の承認を得ることが必要とされます。なお、定款、貸借対照表、収支計算書等の財務諸表、役員報酬等の支給基準などの公表も法律上義務付けられます。社会福祉法が改正されると、当法人の理事会、評議員会の在り方も当然変わりますので定款や関連する諸規程も当然改定しなければなりません。したがって、今からその準備を始めているところです。

「しあわせ」が新しくなります

法人広報誌「しあわせ」は、法人所属施設に勤務する職員の皆さんが参加できる広報誌をめざして、第11号よりリニューアルします。

法人広報誌「しあわせ」表紙 募集要項

法人広報誌「しあわせ」は、年3回(1月、5月、9月)発行しています。より身近な広報誌となるよう、職員の皆様から表紙の作品を募集しています。

- 募集作品のテーマ** 四季折々の写真、絵画、書など
- 応募方法** 応募は持参またはメール(honbu@kyoto-swf.com)でお願いします。作品には題名、撮影場所、撮影日時、施設名、氏名、電話番号を明記してください。
- 掲載場所** 広報誌「しあわせ」の表紙(カラーで横15センチ×縦11～16センチ)
- 応募規定** 応募者自身の作品であること
- その他** 肖像権に関する責任は全て応募者に属することになります。提出された作品は必要によりトリミング等を行うことをご了承ください。
- 応募期限** 発行日の30日前まで

たくさんのご応募をお待ちしています。

I ♥ KYOTO



理事兼評議員
近藤 善弘

この度、評議員のほか兼ねて理事を拝命いたしました。近藤善弘です。よろしくお願いたします。

私は、京都で生まれ、小学校、中学校、高校まで育ち（そのすべてが野口理事と同じ学校で、その御縁で評議員となりました）、大学卒業後は、警察庁に入庁したため、東京暮らしをベースに、東京の霞が関と都道府県警察を行ったり来たり、14回も引越しました。そして、皇宮警察本部長を最後に役所を退官し、4年前に京都に戻ってきました。

法人の理事、評議員の方々をぐるりと見回すと、どうも、私のみが、「京都Uターン組」かな、と感じております。

線香くさい（失礼！）京都の街が、あまり好きではなく、大学に入学したときには、もう京都に戻ることはないだろうと思っていました。しかし、不思議なもので、東京に長く暮らし、いろいろな土地に住み、海外も短期ですが滞在してみると、40代になつてから徐々に、やっぱり京都はいいな、

「I♥KYOTO」という気持ちになつてきた次第です。

京都のどこがいいのか。私の心の中では、二つの想いがあります。

一つは、私は、京都は、「美しい額縁の街」と感じています。京都の街を「額縁」のように美しい山々が取り囲んで、その中に賀茂の流れやお寺や町屋があります。私が通勤で通っている大阪市も「水の都」ですが、残念ながら風景にその「額縁」が見えませんが、全国盆地ならどこでも「額縁」があることになりませんが、京都の額縁は、「大」とか「妙法」とか鳥居のマークとか世界に二つとないユニークな意匠が山に施されており、最も目立つ、比叡山は力強い男性のようにそのカッコいい姿を示しています。

賀茂川は、私が子供の頃もとても楽しい遊び場でしたが、当時は、生活排水が流れ込み水も濁っていました。しかし、今では、カモ、サギ、ユリカモメが飛来し、去年は、初めて、野生のオオサンショウウオを偶

然目撃しました。しかし、驚きのあまり、スマホで写真に撮るのも忘れ、後悔しています。

二つは、やはり、京都は、歴史と文化が、途切れることなく残っている街だからです。私の家の近所の賀茂川に「出雲路橋」という名前の橋がかかっていますが、それは、ヤマト王権前の大國主の命の出雲の国の勢力が古代に日本で京都の地にも及んでいた証拠だと、哲学者の梅原猛先生が書いておられました。小学校時代ソフトボールをやつて遊ぶ場所であった下鴨神社（今は、バット、ボール使用禁止です。）は、平安遷都の前すでに存在していた（下鴨神社HP）。京都は、どこでも近所にこういう信じられないような古代のものもあり、家から歩いていける範囲内にならかの「国宝」がさりげなく存在するような稀有な町です。

わたしは、万葉集のやまとを詠んだ歌は、バクリで、むしろ「京都は、くのにまほろば、たたなずく青垣、やまこもれる京都市うるわし」と思うし、東京では、JR東海の「そうだ、京都いこう！」が人気長寿CMになっています。だから「ライフ・イン京都」という法人の施設名もたいへん素敵なネーミングであると思っております。

各施設の最新情報をお届けします！

施設ナウ!

今年度の目標や取り組みについて

京都桂病院

平成27年度 当院の行動方針

京都桂病院では、5年間の中期計画と毎年の行動方針を決めて、その実現に努力することで、医療の質の改善に取り組んでいます。昨年は5年に一度の中期計画策定の年だったので、今年度は新たな中期計画と新たな行動方針に取り組むこととなります。行動方針は「救急医療の充実」ですが、この方針の実現を通して、中期計画の中にある、「患者・患者家族の不安を速やかに解消する」や「地域から信頼される」などの実現に取り組みます。中期計画の実現が、「一番大切な人を受診させたい病院になる。治療を受けてよかった、治療を受けたい病院になる。働いてよかった、働きたい病院になる。」というビジョンの達成に繋がるものと信じています。

〒615-8256 京都市西京区山田平尾町17番地
TEL: (075) 391-5811(代) FAX: (075) 381-4224
E-mail: info@katsura.com



西陣病院

新人看護師22名が 入職しました

平成22年度より新人看護職員に対する研修の実施が努力義務化されました。それに伴い、西陣病院でも、看護教育専従の看護師1名を配置し、多職種スタッフの協力を得、皆でサポートする体制を整え、1年をかけて新人看護職員研修を行っています。4月は「実地研修I」として、シミュレーターを活用し、基礎看護技術の研修や、医療安全、感染予防、ハイリスク薬剤の管理などの研修も行っています。集合研修だけでなく、週2日間は現場で実際に先輩看護師と一緒に看護を実践しています。新人は慣れない環境で緊張した毎日ですが、先輩のサポートを受けながら、基本理念の「愛の精神で良質な医療」が提供できる看護師を目指し頑張っています。

〒602-8319 京都市上京区今出川通七本松上ル
TEL: (075) 461-8800 FAX: (075) 461-5514
E-mail: nisijin@nisijin.net



京都桂川園

認知症の人が安心して暮らせる町づくり

平成27年3月16日、桂川地域包括支援センター主催で認知症徘徊模擬訓練を実施しました。阪急桂駅東口周辺での啓発活動と、認知症で徘徊している高齢者への声かけ訓練を行いました。西京区では初めての試みでしたが、桂東学区、川岡東学区の皆様、家族の会、社会福祉協議会、福祉事務所、西京区の他の地域包括支援センターなどたくさんの方々にご協力いただき、地域が持つ力の強さをあらためて感じました。認知症の人が安心して暮らせる町、みんなで見守れる町づくりに一歩踏み出すことができたと手ごたえを感じています。認知症の方への声の掛け方が難しかったことなど、やってみてわかったこともあります。今年度はさらに工夫を凝らして2回目の徘徊模擬訓練を企画したいと思います！

〒615-8033 京都市西京区下津林東大般若町32
TEL: (075) 391-1675(代) FAX: (075) 391-1640
E-mail: info@katsuragawaen.com



京都厚生園

サロン活動支援

京都厚生園山田の家の地域交流スペースで、週1回「地域の居場所」「仲間づくり」を目的とした「松陽ふらっとサロン（主催：松陽学区社協）」が開かれています。当園では、地域力を高めていただくために、場所・備品の提供をはじめとした活動支援を行わせていただきました。昨年9月の開始当初は数名の参加でしたが、口コミで広がり、今では1日20名ほど参加いただくこともあります。今年度も事業計画に交流スペースの地域開放や地域参加型行事など「地域連携・貢献活動の推進」を掲げ、より地域に根差した施設づくりを目指したいと思っています。

★「松陽ふらっとサロン」 毎週木曜日：10時～15時★
「ふらっと」お立ち寄り下さい。

〒615-8256 京都市西京区山田平尾町46番地
TEL: (075) 392-7870(代) FAX: (075) 392-0191
E-mail: kswf@kyotokouseien.com



北野保育園

生き生きとした子ども ~継続は力なり~

当園では、「心の教育」を大切に保育の充実を図る。コミュニケーション力の基本である、話は目を見て聞き、意思を言葉で表すことができる子の育成を主眼とし、家庭との連携から、五感の育成・探究心の向上並びに、思いやりの心、自主性・協調性・努力する心の伸長を図る。

心の育みの一片たる食育（給食）では、行事食、アレルギー児の除去・代替食、成長曲線の利用にも努めている。5月には京都市立芸術大学生による子どものための<森森の森展>を開催。

子ども達が一緒に描いて、遊べる体験を通して、ゆとり教育の相反する種々の問題を回避して、幼少期からの情操教育の醸成を目指す機会になるよう実施する。



〒602-8318 京都市上京区老松町103-60
TEL: (075) 462-6491 FAX: (075) 462-9128
E-mail: kyoto.kitanohoikuen@spice.ocn.ne.jp

松陽児童館

ワクワク・ドキドキ 元気いっぱい!

27年度から「子ども・子育て支援新制度」がスタートし、京都市の学童クラブも利用対象児童が1年生から6年生になりました。松陽児童館でも1年生から5年生の91名を迎えて新年度が始まりました。4月8日、小学校の入学式の後、児童館での入所式をしました。名前を呼ばれて、大きな声で返事をする36名の新一年生はキラキラ輝いていました。進級した子ども達もすっかりお兄さん・お姉さんです。学童クラブ児童の「安心安全の生活の場」と地域の全ての子ども達の遊びを通しての交流の場となる事を目指します。また、「地域子育て支援ステーション」として地域の関係機関と連携して子育て中の家庭を支援する事業にも取り組んでいきますのでよろしくお願い致します。



〒615-8256 京都市西京区山田平尾町51-28
TEL: (075) 392-6311 FAX: (075) 392-6312
E-mail: syouyou@kyo-yancha.ne.jp

にしがも透析クリニック

高齢透析患者への 支援

弘法大師ゆかりの神光院などがある西賀茂に、今年も桜の賑いが訪れています。私どもは、平成22年4月1日にクリニックを開業以来、変わることなく、社会福祉法人の一員であるという基本を大切に、泌尿器科（透析）の診療を通じ地域医療に貢献できるよう努力しています。本年度の目標は「透析患者、とくに高齢透析患者への支援」とし、看取りや終末期医療への取り組み、認知症への対応などを考えています。現在、透析ベッド数20床、受け入れ最大数40名ですが、これまでに培ってきた医療・福祉・介護の経験を生かし、健全で最善の診療、運営を目指します。よろしくお願い致します。



〒603-8471 京都市北区大宮西山ノ前町3-1
TEL: (075) 495-1131 FAX: (075) 495-1144
E-mail: nishigamo-hdc@room.ocn.ne.jp

にしがも舟山庵

100歳の方の 生き方に学ぶ

当施設では、今年の2月、4月にご入居者が100歳を迎えられました。

お二人は、歳を重ねられてもご自分の意志をしっかりとられ、ご自分の想いに沿った暮らしをされています。電子式ピアノを毎日弾き、入居者ふれあいの会への積極的な参加や、俳句の通信講座を受講し俳句本まで発行された方、手芸サークルへの参加や一泊旅行に行かれた方と実に前向きな生き方をされています。80人おられれば80通りの生き方があることを改めて実感していますが、今後も、それぞれの方の想いが実現する暮らしの場を提供し続けたいものです。



〒603-8471 京都市北区大宮西山ノ前町3-1
TEL: (075) 495-1121 FAX: (075) 495-1161
E-mail: funayamaan@room.ocn.ne.jp

二条保育園

気分はエベレスト

平成27年度の月組（年長児クラス）の年間目標が担任から示されました。

それは京都周辺の山々の踏破。山のリストは、船岡山（112m）、双ヶ岡（116m）、妙法の山（186m）、左大文字（231m）、大文字（466m）、愛宕山（924m）。

二条保育園では、ほぼ毎年、大文字山頂に行っています。又、過去には銀閣寺から大文字山頂を経て山科まで踏破した経験がありますが、愛宕山は大文字のほぼ2倍の高さ。気分はエベレストです。登頂成功か失敗か来年の「しあわせ」で報告を致します。



〒604-8404 京都市中京区聚楽廻東町7
TEL: (075) 841-0139 FAX: (075) 841-6019

昭和保育園

子どもが 帰ってくる保育園

今年の4月もたくさん卒園生が保育園に来てくれました。入学式を終えて、新しいランドセル背負って、少し自信がついたお顔にみえます。本当に嬉しくて、園長先生や担任の先生と一緒に写真を撮っています。ほどなくすると体格も顔も大人びて、「誰だったっけ?」といった中学生もやってきます。中学生になりました、高校に受かりましたと、なつかしい顔が現れる度に、保育士の歓喜の悲鳴が保育園中に響きわたります。私たちにあって、この仕事をしていて一番嬉しい時なのです。子どもたちはお部屋を回ったり、遊具で遊んだりしてとても楽しそう。ここに来ると、心から子どもに帰れる場所なんだと思います。

これからも、いつまでもそんな場所でありたいと思っています。



〒605-0902 京都市東山区鞆町通七条下ル
TEL: (075) 561-0091 FAX: (075) 561-0743

つばさ園

『第1回 つばさミュージック フェスティバル』

このところ、ブレイクダンスをする子たちが頑張っています。ボランティアで教えてくださる方がいて、練習に本番にと頑張っています。さんしん（沖縄三味線）を熱心に練習している子もいます。いつか沖縄でさんしんを披露することを目標にしています。トランペットを頑張っている子もいます。職員のピアノと合わせて練習しています。さらに他の楽器と合わせて演奏したいと思っています。職員も和太鼓に挑戦しています。今まで頑張っていた和太鼓やピアノ・ドラムに加えて、音楽系が流行っています。お互いその頑張りを見合おうと盛り上がり、児童館をお借りして、3月15日に『つばさミュージックフェスティバル』を開きました。とっても豊かな一日でした。



〒615-8256 京都市西京区山田平尾町51-28
TEL: (075) 381-3650 FAX: (075) 393-4316
E-mail: tsubasa@rondo.ocn.ne.jp

ライフ・イン京都

ご入居者と職員、 双方にメリットを!

平成27年度は、ご入居者の安楽な移乗と介護職員の腰痛予防のために、「ノーリフトポリシー」（抱えない介護）を目標のひとつに掲げています。スライディングシート、スライディンググローブなどに加え、移乗用ロボットSASUKE（サスケ）を導入。また、今年度は新たに床走行リフトも購入して、より安全で、安楽な移乗を行えるような取り組みを行っていきます。介護職員は腰痛があっても当たり前ではなく、腰痛はあるべきでないとの視点に立って考えます。腰痛は物理的要因だけでなく、心理的要因も深く関係すると言われてます。ストレス軽減の面からもカウンセリングの活用等を並行して行い、よりよい介護サービスの提供に努めたいと思います。



〒615-8256 京都市西京区山田平尾町46番地の2
TEL: (075) 381-1870(代) FAX: (075) 381-1899
E-mail: lifeinkyoto@lifeinkyoto.or.jp